



『つながり』は 将来のために

校長 青木 優樹恵

7月に入りました。あっという間に、1学期もあとわずかです。

もう1か月前になりますが、体育大会では、子どもたちが、あきらめずに最後までねばり強く競技する生き生きとした姿を観ていただきました。また、今年は、競技だけではなく演技と組み合わせることで、ストーリー性のあるものに仕上げましたが、いかがだったでしょうか。子どもたちと先生方が工夫して作り上げたプログラムの良さを、感じていただけたらうれしいです。また、先日の授業参観では、普段の授業の様子を観ていただきました。お越しくださり、ありがとうございました。

さて、その日も、3年生は神戸新聞社の方の出前授業を実施しました。今年度も、多くの出前授業を計画しています。もうすでに、5・6年生は弦楽アンサンブルの方に来ていただいて、バイオリンなどの生演奏を間近で聴きました。美しい演奏が子どもたちの心に響き、どの子も夢中で音楽を楽しんでいました。田能資料館からは、館長が貴重な土器等たくさんの資料持参で、授業をしてくださいました。その分野に精通するプロから直接授業を受ける経験は、間違いなく子どもたちの知識を増やすだけではなく、よい刺激になります。将来、夢をもってさまざまな世界に巣立つための一助になればと思い、これからも、各々の場所で活躍する方とのつながりを経験させたいと考えています。

ところで、子どもたちは、普段、同級生とつながることが、だんぜん多くなります。先日、大庄中学校の体育大会に行ってきましたが、卒業生たちの立派に活躍する場面をたくさん観ることができて、興奮しました。成文小学校から巣立った卒業生は、4校から集まってくる大庄中学校の中で、今までの友だち関係も大切にしながら、新しい学級やクラブにおいて、初めて出会う同級生とつながることを経験します。そして、3年間の中学校を卒業すると、確実に、中学校よりも大きなコミュニティの中に入っていきます。成文小学校のすぐ横には、尼崎西高校があります。つい先日、尼崎西高校に行く機会があり、授業の様子を観てきましたが、そこには、尼崎市以外の生徒さんもたくさんいました。

小中高と進むにつれて広がっていく世界で、人とつながるために、子どもたちに、どんな力をつけられたいのでしょうか。6月の朝会で、ほそかわてん作『こころってなんだろう』という絵本を紹介しました。「こころは、だれにでもある」、「いろいろな人に会うごとにこころが動いて、いろんなきもちがうまれてくる」。「それじゃ、どうやって自分のきもちをわかってもらう?」、「きもちを伝えるために、コトバがあるんだよ」、「コトバの力ってすごい。あんしんできるあたたかい毛布にもなるし、あいてをきずつけるナイフにもなる」。「どんなふうにかコトバを使うかは自分しだい」。

今、成文小学校の子どもたちは、わかり合い、つながりを広げるためにどんな言葉を使えばいいかを学んでいます。これも、学校でできる立派な勉強です。そのために、子どもたちを見守り、考えさせて、自ら行動できるように支援しています。つながるためには、友だちとぶつかることも経験の一つです。どう支援すれば、子どもたちがうまくつながっていけるのか、これからも、保護者の皆様、地域の方々と共に考えていきたいと思えます。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



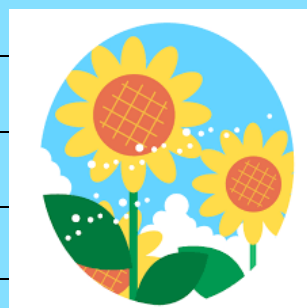


7月の予定



| 日 | 曜日 | 主な行事 |
|----|----|----------------------|
| 1 | 土 | |
| 2 | 日 | |
| 3 | 月 | |
| 4 | 火 | 6年 出前授業（5時間目） |
| 5 | 水 | 成文算数チャレンジ検定 諸費引落 |
| 6 | 木 | 学校評議員会 |
| 7 | 金 | 5年 出前授業（1・2時間目） |
| 8 | 土 | |
| 9 | 日 | |
| 10 | 月 | |
| 11 | 火 | |
| 12 | 水 | 4年 出前授業（2・3時間目） |
| 13 | 木 | 自然学校説明会（16：00） |
| 14 | 金 | 給食最終日 集団下校（14：00頃下校） |
| 15 | 土 | |

| 日 | 曜日 | 主な行事 |
|----|----|---|
| 16 | 日 | |
| 17 | 月 | 海の日  |
| 18 | 火 | 12：30下校 |
| 19 | 水 | 12：30下校 |
| 20 | 木 | 終業式 大掃除（12：00下校） |
| 21 | 金 | 夏季休業日（8月24日まで） |
| 22 | 土 | |
| 23 | 日 | |
| 24 | 月 | |
| 25 | 火 | |
| 26 | 水 | |
| 27 | 木 | |
| 28 | 金 | |
| 29 | 土 | |
| 30 | 日 | |
| 31 | 月 | |



【夏休み作品展】

【8月の予定】

11日（金）～17日（木） 学校閉鎖

25日（金） 2学期始業式・大掃除

12：00下校

28日（月）～31日（木）

12：30下校

9月1日（金） 給食開始

夏休みの間に、研究や作品制作に取り組みましょう。
(さまざまな作品の募集がありますので、チャレンジしてみてくださいね。)

できた作品は、2学期始業式8月25日（金）に持ってきてください。夏休み作品展は、9月1日（金）・4日（月）・5日（火）に予定しています。詳しくは、後日、学校より文書を配付いたします。

『あゆみ』について

毎学期末に、お子様の成長の記録として、『あゆみ』をお渡ししています。これは、個々のお子様において、学習やくらしのねらいについての達成状況をあらわしたものです。

昨年度までは、学期末にお渡ししたものを次の学期初めに持ってきていただいていたいました。今年度からは、毎学期末にお渡ししますが、持ってきていただくことを省略いたします。それにともない、担任印、保護者印の欄、修了書を省いています。また、2学期の所見は、個人懇談会に代えさせていただきますので、記入を省略いたします。

なお、「評価の観点とその趣旨」については、1学期末のみ配付しますので、1年間ご家庭で保管してください。ご理解いただきますよう、お願いいたします。



『読書感想文コンクール』に挑戦！

長い夏休み、想像力を働かせる活動の一つとして、『読書感想文コンクール』に挑戦しませんか。夏休みの自由課題になる学年もあるかと思えます。

7月28日（金）、大庄地域課主催で「夏休み読書感想文教室」が、校区内にある大庄北生涯学習プラザで実施されます。4年生以上の親子が対象です。詳しくは、大庄地域課からのチラシをご覧ください。

読書感想文コンクールには、字数等、規定がありますので、詳しくはホームページでご確認ください。また、課題図書部門と自由図書部門があります。課題図書は、それぞれの学年にふさわしい図書が選ばれていますので、何をを読んだらいいのか迷ったときには、ぜひ、参考にしてください。この時期、書店でも、児童書コーナーの目立つところに置いてあることが多いです。

読書をしたら読んだだけで終わるのではなく、感想を文章で表現してみる、そうすることで、自分の思いを自分自身で確固たるものにすることができます。また、その思いは、その時の思いです。少し年月がたつと、成長とともに思いも変化していきます。ですから、この夏の思いを形に残すこともよい記録になると思います。ぜひ、読書に親しみ、読書感想文にも取り組んでみてください。2学期に担任の先生に提出してくれることを楽しみにしています。

【学校での活動の様子】

【体育大会 6月3日(土)】

前日に大雨警報が発令されるという状況で、開催自体が危ぶまれましたが、無事多くの保護者の方にも参観していただき実施することができました。今年度はアフターコロナにおける体育大会のあり方を検討し、プログラムづくりをしました。低・中・高学年のどの学年団も、団体演技と団体競技をミックスして取り組むという方法を取り、学校行事のマネジメントと子どもたちのやりがいと両立できるように考えました。いい大会となりました。



【5・6年生『弦楽アンサンブルコンサート』 6月13日(火)】

5・6年生対象に弦楽アンサンブルコンサートがありました。チェロの藤原克匡さん、バイオリンの多田晴香さんと柳浦香澄さん、ヴィオラの平井菜月美さんの4人が素晴らしい音を響かせてくれました。途中、楽器の説明をしてくれたり、実際に楽器にさわらせてもらえたりして、子どもたちにとっては貴重な時間となりました。



【3年生『田能資料館出前授業』 6月13日(火)】

尼崎市の北東部にある歴史博物館『田能資料館』の出前授業がありました。最初に弥生時代の尼崎市の様子を話してもらいながら、徐々にたくさん準備してもらった実物を使いながら、弥生時代の『衣・食・住』について話を進めてもらいました。担任が貫頭衣を実際に着てみたり、石包丁で稲の穂を切る様子を再現してもらったりしました。まだ歴史学習をしていない3年生の子どもたちでしたが、最後まで興味をもって授業を受けていました。



【さくら学級と1年生の交流授業 6月22日(木)】

インクルーシブ教育活動の一環として、さくら学級と1年生の交流授業を行いました。さくら学級の子どもたちが司会をして、授業を進行していました。ドッジボールや鬼ごっこをみんなで一緒に楽しみながら交流しました。どの子も笑顔で汗びっしょりでした。



※上記の他にもホームページにて各学年の活動の様子を伝えています。ぜひご覧ください。